

三宅砂織 個展『THE MISSING SHADE 3』開催のご案内

展覧会名：三宅砂織 個展『THE MISSING SHADE 3』

会 期：2018年1月13日（土）～2月11日（日）

オープニングレセプション：1月13日（土）18:00-20:00

・会期中は、水・木・金・土 12:19時、日 12:18時のオープンとなります。（定休日：月火祝）

・本展のオープニングレセプションを、初日の1月13日（土）に開催します。作家も在廊いたします。

なお、レセプション前の時間帯も、通常通り12時からギャラリーはオープンいたします。

会 場：WAITINGROOM（〒112-0005 東京都文京区水道2-14-2長島ビル1F）

WAITINGROOM（東京）では、2018年1月13日（土）から2月11日（日）まで、三宅砂織の個展『THE MISSING SHADE 3』を開催いたします。当ギャラリーでは初の個展開催となる三宅は、既存の画像をモチーフとした独特のフォトグラムの手法により、イメージの物語性や断片性や多層性を浮き彫りにし、見る行為に含まれるまわりの世界との関係性を詩的に描き出しているアーティストです。本展と同時期に国立新美術館で開催される『20th DOMANI:明日展（2018年1月13日～3月4日）』との両展覧会において、ある個人Y氏のアルバムおよび写真のコレクションをモチーフとした新作群を発表いたします。



The missing shade 40-2, 2017, gelatin silver print, 572 x 478 mm

作家・三宅砂織について

1975年岐阜県生まれ、2000年に京都市立芸術大学大学院美術研究科を修了。現在は大阪を拠点に活動中。近年の展覧会として、2017年個展『THE MISSING SHADE2』（SAI GALLERY、大阪）、2017年グループ展『アートのなぞなぞ - 高橋コレクション展』（静岡県立美術館 企画展示室、静岡）、『ArtMeets04 田幡浩一／三宅砂織』（アーツ前橋 ギャラリー1、群馬）、2016年グループ展『La métis du renard et du poulpe』（CABANE GEORGINA、フランス）、2015年個展『THE MISSING SHADE』（FUKUGAN GALLERY、大阪）、2012年自主企画展『アブストラと12人の芸術家』（大同倉庫、京都）などが挙げられます。また、2016年『京都府文化奨励賞』、2013年『咲くやこの花賞』美術部門、2010年『VOCA賞』などの受賞や、京都市立芸術大学、モンブランジャパン、高橋コレクションへのパブリックコレクションの収藏など、幅広く活躍している作家です。東京での個展は、本展が約5年ぶりとなります。

↓<次頁> 展覧会について

個人的経験と集団的記憶の交差点から見える新たな物語の可能性

三宅砂織が2015年から続けているシリーズ『THE MISSING SHADE』の「SHADE=影」は、絵画の起源と深い関わりがあるといわれていることから名付けられたタイトルです。写真か絵画か、判断を宙吊りするような三宅の作品は、既存の写真をなぞって描かれたネガを感光紙にプリントするという、独特のフォトグラム手法によって制作されています。このアナロジカルなプロセスを経ることで浮かび上がるイメージは、写眞的なリアリズムを追求するというよりはむしろ、その向こう側にある多様な読みを可能にさせると三宅は言います。画像を見ることをめぐる経験と感覚の関係性を絵画的な視点から追求してきた『THE MISSING SHADE』シリーズにおいて、ある個人Y氏から譲り受けた写真のコレクションやアルバム、スクラップブックや書籍、記念品などのコレクションがモチーフとなったのが、今回発表される『THE MISSING SHADE 3』の新作群です。

体操選手として1936年にベルリンオリンピックに出場し、その翌年から日中戦争にて従軍生活を送り、その最中に出会った尺八ではわずかしかいない「竹琳軒」の称号が贈られるまでの奏者となり、その後69歳で亡くなるまで体操競技の指導者として、尺八の奏者として、海外遠征や国際交流を経験したというY氏。氏が遺した写真や品物、つまり氏がかつて見たであろうものらは、徹底してそれ自体を再び「見る」ことの結果として、三宅の作品において有機的に再構築されています。ネガポジ反転を繰り返し、最終的に銀塩の無限のグレーのグラデーションのうちに還元されたイメージは、個人的経験と集団的記憶が行き交う、新たな物語の可能性をもたらしているかのようです。デジタル化とクラウドの普及、SNSのトレンドによって、様々な<イメージ>が氾濫し、肥大化し、もはや一つ一つの物語に価値を見出せなくなっている時代の中でなお、「<イメージ>を見る」という行為と経験に焦点を当てた三宅の作品群は、他者への関心や、移ろいやすさや曖昧さに対する意識、意味の付与に対する感性を、間接的にあるいは逆説的に問い合わせ直しているのではないでしょうか。

今回同時開催となる国立新美術館での『20thDOMANI・明日展』では、Y氏が海外派遣された日々にまつわる写真が主なモチーフに、WAITINGROOMでの個展では、体操選手として、そして指導者として、技の研究のために氏が集めていた写真のコレクションから、東欧や旧ソ連の選手、Y氏本人を含む日本の選手の写真などをモチーフとした作品を発表する予定です。両展覧会を通して発表される、三宅砂織の意欲的な新作群を是非ともご高覧ください。

同時開催：

『20thDOMANI・明日展』

会期：2018年1月13日（土）～3月4日（日）

会場：国立新美術館 企画展示室2E（東京）

詳細：<http://domani-ten.com>

アーティスト・トーク vol.9 「影、まなざし、複数性 - 絵画と写真と版画のはざまで -』

日時：2月10日（土）16:30～（60-90分間）

会場：国立新美術館企画展示室2E入口特設会場

スピーカー：三宅砂織 x 住友文彦（アーツ前橋館長）

参加費無料・予約不要



The missing shade 31-1, 2017
gelatin silver print, 194 x 131 cm



The missing shade 38-1, 2017, gelatin silver print, 76 x 75 cm

↓<次頁> 作家 略歴

三宅 砂織

1975年 岐阜県生まれ
現在は大阪を拠点に活動中

学歴

2000 京都市立芸術大学大学院美術研究科修了
1999 英国ROYAL COLLEGE OF ART 交換留学
1998 京都市立芸術大学美術学部美術科卒業

個展

2017
THE MISSING SHADE 2 - SAI GALLERY (大阪)

2015
THE MISSING SHADE - FUKUGAN GALLERY (大阪)

2013
Found - TRAUMARIS/SPACE (東京)
Abstract dislocation - FUKUGAN GALLERY (大阪)
三宅砂織展 - アート大阪 (フェア・大阪)

2011
realities or artifacts - ギャラリーノマル (大阪)

2010
image castings - GALLERY at lammfromm (東京)
Image castings 2 - FUKUGAN GALLERY (大阪)

2009
CONSTELLATION 2 - Yuka Sasahara Gallery (東京)

2007
プリックル - FUKUGAN GALLERY (大阪)
CONSTELLATION - Yuka Sasahara Gallery (東京)

2006
トゥインクル - FUKUGAN GALLERY (大阪)

2004
ナゾナゾライ - FUKUGAN GALLERY (大阪)

2003
点／滅 - ノマルエディション (大阪)

2002
三宅砂織展 - ギャラリーココ (京都)
三宅砂織展 - FUKUGAN GALLERY (大阪)

2001
さがしもの - FUKUGAN GALLERY (大阪)
三宅砂織展 - ギャラリーココ (京都)

2000
三宅砂織展 - ギャラリーココ (京都)



The missing shade 21-2, 2017, gelatin silver print, 71 x 101 cm



The missing shade 22-2, 2017, gelatin silver print, 79.5 x 52 cm



『ArtMeets04 田幡浩一／三宅砂織』2017, 展覧会風景 (アーツ前橋 ギャラリー1・群馬)

主なグループ展

2017

アートのなぞなぞ - 高橋コレクション展 - 静岡県立美術館 企画展示室 (静岡)
 NEWSPACE - WAITINGROOM (東京)
 ArtMeets04 田幡浩一／三宅砂織 - アーツ前橋・ギャラリー1 (群馬)
 Certains Regards à Paris - ある視点 in Paris - 兵庫県パリ事務所 (パリ・フランス)

2016

日本・ベルギー国際交流美術展in金沢 / WEWANTOSEE - 金沢21世紀美術館市民ギャラリーB (全フロア) (石川)
 La métis du renard et du poulpe - CABANE GEORGINA (マルセイユ・フランス)
 ドローイング レッスンズ - 3331アーツ千代田 (東京)

2015

第51回企画展 "現代の美術作家4人展 4 Spirited Artists" - 関市立篠田桃紅美術空間 (岐阜)
 Why did I laugh tonight? - Gallery Out of Place (東京)

2014

Layering - ギャラリー ノマル (大阪)
 HANGA-Japanese and Belgian printmaking today - サンニクラウス美術館 (ベルギー)
 "Kokoro" (*coeur et esprit) - ジュンヌ クレアシオン ギャラリー (パリ)

2013

秘密の湖～浜口陽三・池内晶子・福田尚代・三宅砂織～ - ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション (東京)
 アートがあればII- 東京オペラシティアートギャラリー (東京)
 みなとの物語 - クリエイティブセンター大阪 (大阪)

2012

New contemporaries - 京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA (京都)
 キュレーターからのメッセージ2012 現代絵画のいま - 兵庫県立美術館 (兵庫)
 自主企画展「アブストラと12人の芸術家」 - 大同倉庫 (京都)

2011

『ベルギー&日本-当世版画交流展』～Part 1～ひらのはっこうあれじまい - 京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA2 (京都)
 TOUGEN 『現代作家による桃源郷へのアプローチ』 - masayoshi suzuki gallery (愛知)

2010

あいちアートの森 - ナゴヤインドアテニスクラブ (愛知)
 VOCA展2010 / 新しい平面の作家たち - 上野の森美術館 (東京)

2009

neoneo展 Part 2 [女子] - 高橋コレクション日比谷 (東京)
 モンブラン ヤングアーティスト ワールド パトロネージ 2009 - モンブラン銀座本店 (東京)

2008

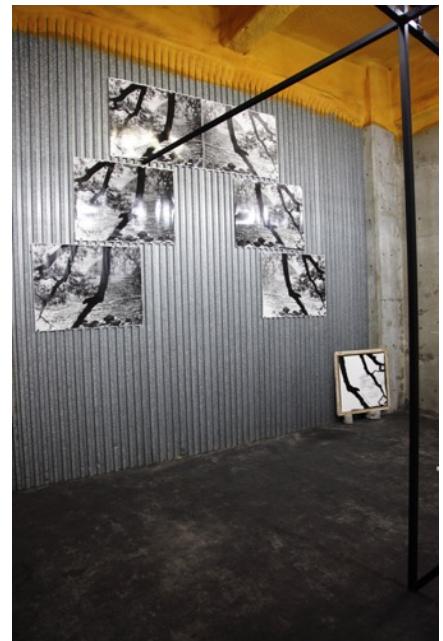
JAPAN NOW - Inter Alia Art Company (ソウル・韓国)
 SENJIRU / INFUSION - Galerie Kashya Hildebrand (チューリッヒ・スイス)
 MAXI GRAPHICA / Final destinations - 京都市美術館 (京都)
 ローカス 五人の作家が紡ぎだす軌跡 - 神戸アートビレッジセンター (神戸)

2007

in my room - FUKUGAN GALLERY (大阪)
 Art Court Frontier 2007 #5 - アートコートギャラリー (大阪)
 版という距離 - 京都芸術センター (京都)

2006

YSG project vol.1 加藤千尋／三宅砂織 - Yuka Sasahara Gallery (東京)



『Aの中の隠れた何か』 2012, gelatin silver print, wood panel, stone
 自主企画展『アブストラと12人の芸術家』 2012, 展覧会風景 (大同倉庫・京都)

主なグループ展（つづき）

2005

錦市場でフィレンツェ、トスカーナを探そう展 - 錦市場（京都）
 密、砂、織 展 - ギャラリー16（京都）
 Independent～イメージと形式～ - 愛知県美術館ギャラリー（愛知）

2004

art in transit 展 - パレスサイドホテル（京都）

2003

temporary project room exhibitions - 名古屋造形芸術大学（愛知）

2002

multiple market メイド・イン・キヨト - ヴォイスギャラリー（京都）
 想画展/ 青木陵子・法貴信也・谷本良子・ブブ・三宅砂織 - ヴォイスギャラリー（京都）

2001

京都府美術工芸選抜展～2001新しい波～ - 京都文化博物館（京都）
 Between The Lines - ギャラリーココ（京都）

2000

新鋭美術選抜展 - 京都市美術館（京都）
 神戸アートアニュアル - 神戸アートビレッジセンター（兵庫）



The missing shade 10-1, 2015, gelatin silver print, 194 x 131 cm

アワード

2016年 京都府文化賞奨励賞 受賞
 2013年 JEUNE CREATION 奨励賞 受賞
 2011年度 咲くやこの花賞 美術部門 受賞
 2010年 「VOCA展2010」 VOCA賞 受賞

助成金

2016年 文化庁新進芸術家海外研修制度、文化庁

出版物

『ニッポン・アートの躍動』高階秀爾著、2015年04月24日、講談社
 文庫本表紙『幻影の書』ポールオースター著、柴田元幸訳、2011年、新潮文庫

展覧会図録

『秘密の湖』2013年6月、ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション
 『アブストラと12人の芸術家』2013年、アブストラクト実行委員会
 『New contemporaries』2012年03月24日、京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA
 『キュレーターからのメッセージ2012 現代絵画のいま』2012年、兵庫県立美術館
 『VOCA 2010』2010年、「VOCA展」実行委員会、公益財団法人日本美術協会・上野の森美術館

パブリックコレクション

京都市立芸術大学、京都
 町田市立国際版画美術館、東京
 モンブラン ジャパン、東京
 第一生命保険相互会社、東京
 千島土地株式会社
 高橋コレクション

アーティストウェブサイト
<http://saorimiyake.com>

※本展に関するお問い合わせは、下記連絡先までお願いいいたします。

WAITINGROOM（代表：芦川朋子）

住所：〒112-0005 東京都文京区水道2-14-2 長島ビル 1F

営業時間：水木金土 12-19時・日 12-18時

定休日：月火祝

Tel : 03-6304-1877 Eメール : info@waitingroom.jp

Web : <http://waitingroom.jp>